

2023年度 同志社大学 プロジェクト科目 募集要領

本学では、講義スタイルとは異なった実践型・参加型の学習機会を重視したプロジェクト・ベースド・ラーニング（PBL）を基本とした、全学共通教養教育センター設置の学部生対象の正課科目「プロジェクト科目」を2006年度から設置しています。この科目では、学生が具体的・実践的プロジェクトに即して問題の「所在」と「解決」を考え抜く力を陶冶することを目的としています。

つきましては、下記の「プロジェクト科目」設置の趣旨にご賛同いただき、ご担当いただける「プロジェクト科目」のテーマを募集いたします。応募されたすべてのテーマは、学内の委員会の厳正な審査を経て、採択・不採択を決定いたします。

1. 設置趣旨

- (1) 講義形式による系統的知識や理論の伝授を中心とした授業形態とは異なった、プロジェクト遂行型の授業科目を設置することで、学生の「学ぶ意欲」や問題発見・解決能力を育み、教養教育を中心とした本学のいっそうの教育の充実と多様化を図る。
- (2) 社会で役立つ実践的スキルやノウハウの単なる伝授をその設置目的とするのではなく、具体的プロジェクトに即して履修生自身に問題を考え抜く習慣や力を養成することを主たる目的とする。
- (3) フィールドワークなどによる「現場に学ぶ」視点を基本に、履修生の協同によるプロジェクトの自発的・自主的運営を重視し、プロジェクトの遂行を通してコミュニケーション能力、企画立案能力、自己管理能力など、学生の総合的人間力を育成する。
- (4) 教育の面での産官学地域連携の推進を図る。

※下記のURLにて、プロジェクト科目の紹介をしています。

プロジェクト科目 …………… <https://pbs.doshisha.ac.jp/outline/outline.html>

テーマ一覧…………… <https://pbs.doshisha.ac.jp/theme/2022/results.html>

紹介ビデオ…………… <https://ppsc.doshisha.ac.jp/link/link.html>

現代GP…………… https://www.doshisha.ac.jp/support_program/modern_needs/modern_needs.html

全学共通教養教育センター… <https://cgle.doshisha.ac.jp/>

PBL推進支援センター…………… <https://ppsc.doshisha.ac.jp/>

2. 募集対象

設置趣旨に賛同し、プロジェクト科目をご担当いただける専任教員です。企業、団体（地方自治体等を含む）、個人の方を授業協力者としてコーディネートの上、ご提案いただいても結構です。提出していただいたテーマについては、年度ごとに審査・採択を行うことを原則とします。また、同一テーマ提案者が、すでに開講された科目と同一内容のテーマで応募される場合、採択は3回を上限とし（開講決定後に履修生が5名未満となり、不開講となった場合もカウントされます。2008年度から適用しています）、本年度までで3回採択されたプロジェクトは、同一内容でのご応募は審査対象といたしませんので、ご注意ください。採択回数等、ご不明な点があれば、応募される前に事務局にご確認ください。

3. 実施条件

1) 募集テーマについて

テーマは、設置趣旨に合致したプロジェクト遂行型の内容であれば結構です。

※プロジェクトテーマの一例(2022年度採択プロジェクトテーマ)

- ・子どもたちのための「キリスト降誕人形劇」プロジェクト
- ・持続可能社会実現プロジェクトー地域資源を活かしてー
- ・SDGs世代に贈る!「こどもと社会をつなげるゲーム」デザイン
- ・留学生と創る!京の台所錦市場(食文化)マイクロツーリズム読本
- ・京都の伝統織物ができるまでーオンライン体験を考えるー
- ・共感をよぶ映像制作によるシビックプライドの醸成
- ・“withコロナ時代”のコミュニティカフェのデザイン
- ・京都・伏見で酒ツーリズムのしくみをつくる
- ・クリエイティブな映像制作でインターネットの安心安全を守る!
- ・京丹後移住促進プロジェクトー新たな地方移住の仕組みづくりー
- ・伝統を未来へつなぐために古典籍の魅力を子どもたちへ
- ・心地良い空間創作デザインプロジェクト(高齢者福祉の観点にて)
- ・京都の歴史文化遺産のある地域を花で彩り共生社会を世界に発信
- ・未来につなぐ!世界と日本の着物絵本制作プロジェクト

2) 科目の条件

・科目運営体制について

本科目は科目担当者(専任教員または嘱託講師)1名、科目代表者(専任教員のみ)の2名体制で授業を行っていただきます。科目担当者は主として授業をご担当いただく方です。本学の専任教員は科目担当者と科目代表者を兼任できます。また、科目担当者、科目代表者は別の方でも構いません。例えば、複数の専任教員でご提案いただく場合、1名を科目担当者、1名を科目代表者としてご応募いただけます(科目代表者は科目担当者および授業運営をサポートしていただく立場から、採択科目中1科目のみの科目代表者になれることとします。同一教員が複数のテーマの科目代表者となることはできません)。ただし、嘱託講師の方からご提案いただく場合、本学の専任教員1名が、科目代表者として、科目の運営を代表することを条件とします。嘱託講師の方が科目担当者として応募される場合は一般用応募フォームでお願いいたします。

受付締切後、プロジェクト科目検討部会および教務主任会議にて、開講の可否についての審議、承認後に開講という手順になります。審査結果は書面にて通知します。なお審査結果に関する問合せには一切応じませんので、ご了承ください。

学生の登録者数が5名未満の場合は、不開講となります。また、履修中止制度により、当該科目の登録者数が5名未満になった場合、不開講の措置をとらせていただくことがございます。あるいは、科目運営に重大な問題や支障が生じ、正常な授業運営が不可能となった場合も同様の措置をとらせていただくことがございます。

・授業運営費

授業運営予算として、1セメスター1科目あたり30万円(税込、上限)を予定しています。使用範囲は、謝礼(学内規定*1)にもとづく金額でのゲストスピーカーの謝礼、交通費)、文具雑品費、図書費、印刷製本費、授業実施に伴う交通費(通勤経路外を支給)および用品費などです。授業には、ゲストスピーカーにご参加いただくことも可能です。その場合には、授業運営予算内で、謝礼、交通費等を支払うことができます。

当予算は、原則、科目代表者が管理することとします。必要な予算の支出は、履修生とご相談・調整の上、執行いただきます。また、履修生から会計担当者を選出しますので、教育の一環として、事務手続きは必ず学生が担当します。各 Semester 終了後には会計担当者から「プロジェクト科目授業運営費決算書」を提出していただきます。

*1…経費等の執行の取扱いについて定めています。例えば講義(90分)の場合は、金額の上限は学長クラスで25,000円です。

・教室、機材

教室は、通常の科目同様、登録者数や使用する機材等を考慮して割当てます。授業に必要な機材や物品などをテーマ応募フォームにご記入ください。高価なソフトウェア等は、ご希望に添えない場合があります。また、教室に常設されていない場合でも、機材によっては大学から貸し出しすることが可能ですが、数量や使用期間については制限のある場合があります。消耗品については、授業運営費から支出していただくことが可能です。

・授業曜日、講時

テーマ応募フォームに希望する授業曜日・講時を第3希望までご記入ください。希望曜日・講時を参考に時間割配当を行いますが、教室事情やカリキュラムの都合上、ご希望に添えない場合があります。なるべく沢山の学生が履修可能な時間帯となるように、ご配慮賜りますようお願いいたします。なお、オフキャンパス型のプロジェクトの場合は、1講義当たり90分を厳守の上、テーマに即して時間帯を工夫していただいても構いませんが、学生は前後に他の科目を履修する場合もございますので、学生の移動時間等に十分ご配慮ください。

・授業対象学生

授業の対象は1年次生～4年次生の学部生です。ただし、選考は原則として3月末に行いますので、1年次生は、春学期科目と春学期・秋学期連結科目を履修できません。プロジェクトにもよりますが、15名(上限19名厳守)を目安に選考を行っていただきます。なお、開講には5名以上の学生の登録が必要です。

・保険

学生は、下記の保険に加入しています。

学生教育研究災害傷害保険

キャンパス内での各種の事故による傷害はもちろんのこと、キャンパス外で行われる授業や大学に届け出た課外活動中での学生本人の事故等に対応しています。

【保険内容】2022年4月現在

死亡保険金：2,000万円(正課中・大学行事中)

後遺障害保険金：120万～3,000万円(正課中・大学行事中)

医療保険金：治療日数に応じて3,000円～30万円(正課中・大学行事中)

入院加算金(180日限度)：入院1日につき4,000円

学研災付帯賠償責任保険

国内外において学生が、正課・大学行事およびその往復途中で、他人に怪我をさせたり、他人の財物を損壊したりしたことにより被る、法律上の損害賠償を補償するものです。

【保険内容】2022年4月現在

支払限度額：対人賠償と対物賠償合わせて1事故につき1億円限度

・待遇

通常の授業科目の担当と同様です。

3) テーマの選定について

ご応募いただいた書類をプロジェクト科目検討部会、教務主任会議で審議し、開講校地や期間、テーマ内容などを考慮した上で、2023年度は10科目程度を選定します。対面形式での面接を行う場合がありますが、新型コロナウイルス感染症の状況から、Web形式での面接とする可能性もあります。応募が多数の場合、あるいは審議の結果により、ご希望に添えない場合がございます。

・選定基準

下記の基準に従ってテーマ選定を行います。

— 選定基準 —

○授業運営計画と教育目的との整合性

- ①プロジェクトの遂行過程＝授業運営計画が、狙いとしている教育目的（学生のどのような能力を向上させようとしているか）と整合性があり、その目的の実現を見込める計画となっているか。

○プロジェクトテーマの適合性

- ①テーマが明確で、かつ学生に対する教育効果が見込めるテーマ設定であるか
- ②学外応募の場合、学内の専任教員によっては実施が困難ないし不可能と想定されるテーマとなっているか
- ③全学部の学生を対象とするにふさわしい、一定の拡がりをもったテーマ設定となっているか

○プロジェクト遂行（授業運営）過程の適正さ

- ①プロジェクト遂行過程が、応募段階で具体的に計画されているか
- ②公正で厳密な成績評価を下すことができる見込みがあるか
- ③5～15名という人数規模に適正な授業運営計画となっているか
- ④実施期間がプロジェクトの遂行に適正であるか

○その他

- ①計画と実施過程に同志社大学の正課科目としては不適切な内容を含んでいないか

4) 科目運営について

・採択されたテーマを履修希望する学生の選考は2023年3月末日を予定しています。詳細については別途案内します。

・学期末（春学期末、秋学期末）に成果報告*2を行っていただきます。成果報告はテーマ毎に科目に登録している学生が行うこととします。科目代表者および科目担当者の方もご参加いただきます。

*2...春学期・秋学期連結科目は、春学期末に中間報告を行い、秋学期末に最終報告を行っていただきます。両日ともご参加をお願いします。ご参考までに、2021年度春学期および秋学期の成果報告会は新型コロナウイルス感染症拡大防止措置としてオンライン形式にて実施しました。2022年度も引き続き、オンラインでの実施を予定しています。

5) 授業について

・開講期間は、春学期、秋学期、春学期・秋学期連結*3の何れかとします（数日間で実施する集中形式の開講はできません）。本科目は1セメスターにつき2単位とします。プロジェクトの内容にもよりますが、1セメスターでは活動期間が充分にとれない場合があります。学生の自立的な活動期間を勘案し、1セメスターで不足する場合は春学期・秋学期連結科目としてのプロジェクトをご提案ください。ただし、授業期間をとおして、学生の活動が大幅に授業時間を超えないよう、ご指導をお願いします。

*3...「春学期・秋学期連結」とは、春学期、秋学期を併せた期間となります。

・1セメスターにつき15回の授業をご担当いただきます（複数企業によるコラボレーションの場合は、科目代表者が科目担当者と調整を行ってそれぞれの分担をお決めください）。

・授業には必ず科目担当者または科目代表者が出席し、ゲストスピーカーのみで授業が行われることのないよう、お願いいたします。科目代表者の積極的な授業参加をお願いします。

・「学外における授業実施等に関する届」を事前に提出していただければ、学外で授業を行っていただくことができます。

6) TA・SAの利用について

プロジェクト科目では、全科目に必ず1名のTA（ティーチング・アシスタント）またはSA（スチューデント・アシスタント）を配置することとしています。TA・SAの役割については、それぞれ担当できる業務に違いがありますが、本プロジェクト科目においては、アドバイザー（学生に1番近い相談役）の役割を重視しています。学力や技術よりもむしろコミュニケーション能力を優先し、自ら学生と接して問題解決について相談できる学生を科目代表者から選定していただくことで、プロジェクト活動を円滑に行うことを目的としています。なお、SAの選出については教務課に一任していただくこともできます。

7) 成績評価について

科目代表者の教員を中心に、プロジェクト活動、最終成果報告会の発表、提出された成果物（報告書・資料集など）を基に評価基準表と照らし合わせて成績評価を行います。評価基準表は、テーマ提案者（科目担当者）とご相談の上、授業開始までに作成してください。試験を行う場合は、本学の試験実施要領に沿った形で実施してください。評価方法の詳細については、「プロジェクト科目 授業運営の手引き」（テーマ

が採択された方に科目担当者・代表者説明会にて配付します)をご参照ください。

8) 情報公開について

- ・本学の情報公開を促進するために設置するWWW公開用サーバを利用して、授業内容や情報を公開することができます。科目ごとにディスクスペース 100MB を上限に用意し、アカウントを付与いたします。利用にあたっては「WWW公開用サーバ利用上の注意」等、本学にて定める各種注意事項を遵守いただきます。
- ・本科目について、新聞などのマスコミを通じて広報する場合があります。予めご了承くださいますようお願いいたします。

9) 授業をサポートするサービスについて

- ・本学では、パソコンルームや無線 LAN 環境、あるいは動画・画像編集のためのメディア工房等のハード面の設備や、Microsoft Office 365 各種アプリ (Word、Excel、Powerpoint、Outlook 等の代表的なものほか、OneDrive、Teams、Forms 等)、学修支援システム DUET、LMS (e-class)、といったソフト面の設備等、授業をサポートする様々なサービスを用意しています。

10) アンケート等について

教育効果の測定、本事業の改善のためにアンケートや懇談会を実施しますので、ご協力をお願いします。

11) 授業の成果物等の工業所有権、知的財産権等の取扱い

具体的な条件につきましては、プロジェクト科目検討部会で協議の上、決定させていただきます。

12) その他

新型コロナウイルス感染症の状況により、開講形態の変更(集合形式での対面授業からネット配信形式での非対面授業への変更等)や開講取消し等の措置を取ることがあります。

4. 応募要領

提出書類 (1) テーマ応募フォーム【学内用】(様式2のみ)

※提出に必要な書類等は下記のURLからダウンロードできます。

<https://pbs.doshisha.ac.jp/theme/list.html>

・提出書類は、返却いたしません。予めご了承ください。

・上記以外に、関連する資料を添付いただいても構いませんが、提出書類同様に、返却はいたしませんので、ご注意ください。

・提出書類に不備があった場合は、審査の対象にはなりません。

・応募は、一人につき、1件のみとさせていただきます。

・提出書類のダウンロードができない場合は、下記までご連絡いただき、ご請求ください。ただし、書類の請求受付は、8月末日までとさせていただきます。

・ご存知の通り、本学では新型コロナウイルス感染症拡大防止と学びの継続の両立を行っています。以下のURLから本学の対応をご参照のうえ、同感染症の拡大防止に伴う一定の制限の中でいかにプロジェクトを実施するか、という観点も含め、(1) テーマ応募フォームへの記入をお願いいたします。

(参考) 新型コロナウイルス感染症に係る本学の対応まとめ

<https://www.doshisha.ac.jp/information/covid.html>

提出方法 必要書類を下記の事務室にご提出願います(事務執務時間にご注意ください)。郵送の場合は簡易書留速達郵便でお願いします。普通郵便のものは責任を持ちません。締切日にご注意ください。

・郵送の場合、簡易書留速達郵便で郵送された事実が証明できる証憑書類(領収書)を必ず保管しておいてください。紛失等で証憑書類のない場合は一切受付をいたしません。

・書類が到着した場合は、事務局から e-mail、電話、FAX 等にて、ご連絡を差し上げます。事務局から連絡が無い場合は、書類が届いていない可能性がありますので、提出締切日までに事務局までお問合せください。

・提出後の差し換えは一切認めませんので、併せてご注意願います。

提出期間 2022年8月22日(月)~9月2日(金)<必着>

※締切日に到着していない応募は、一切、受付いたしません。

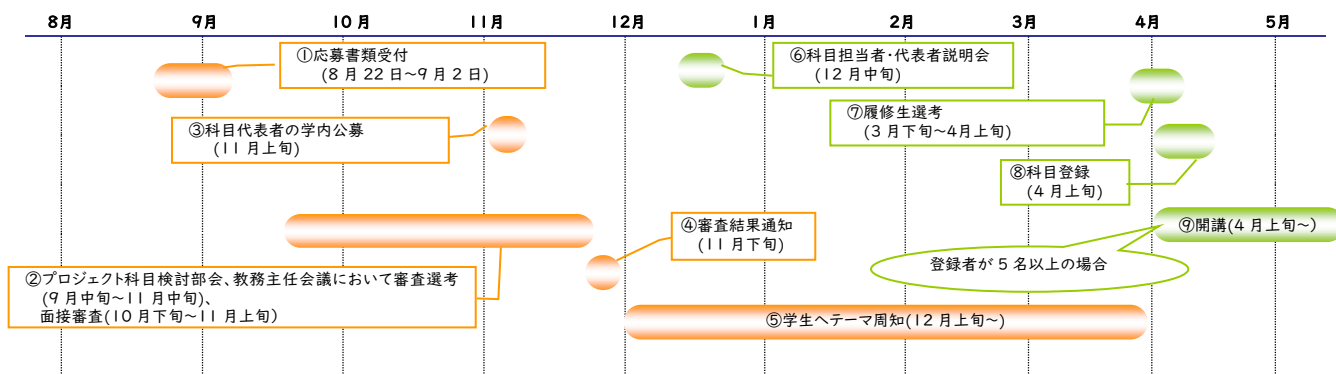
提出先

[今出川校地] 同志社大学 教育支援機構教務部今出川校地教務課 プロジェクト科目検討部会 事務局
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入 内線4630

[京田辺校地] 同志社大学 教育支援機構教務部京田辺校地教務課 プロジェクト科目検討部会 事務局
〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3 内線7053

※表面に「プロジェクト科目書類在中」とお書き添えください。

5. 開講までのスケジュール



- ① 応募書類受付(2022年8月22日~9月2日)
締切日までに到着するように送付願います。
- ② プロジェクト科目検討部会、教務主任会議のテーマ審査選考(2022年9月中旬~11月中旬)
部会、委員会で選定を行います。対面形式での面接審査(10月下旬~11月上旬)を行う場合がありますが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、Web形式での面接とする可能性があります。
- ③ 科目代表者の学内公募(2022年11月上旬)
科目代表者が未決定のテーマについて、本学、専任教員に公募を実施します。
- ④ 審査結果通知(2022年11月下旬)
審査結果を郵送します。結果に関する問合せには一切応じませんのでご了承ください。
- ⑤ 学生へテーマを周知(2022年12月上旬~)
採択テーマを学生に公表し、ホームページでも紹介する予定です。
- ⑥ 科目担当者・代表者説明会(2022年12月中旬)
授業運営やシラバス作成等について説明会を開催します。必ずご参加ください。
- ⑦ 履修生選考(2023年3月下旬~4月上旬)
登録者選考においては、学生から登録したいテーマについて提出された登録志願票(希望理由記載)を基にテーマ提案者(科目担当者)が面談等を行い、登録を許可する学生を決定していただきますので、必ずご出席いただきますようお願いいたします。登録者選考には、授業をご担当いただくテーマ提案者の他に、授業運営に協力される方もご参加可能です。登録許可者が5名未満となる科目は開講できません。5名以上の登録者となった場合は、開講手続きを行います。
- ⑧ 科目登録(2023年4月上旬)
選考結果に従い、履修が許可された学生の科目登録手続きを大学が一括で行います。
- ⑨ 開講(2023年4月上旬)
プロジェクトがスタートします。
なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、開講形態の変更(集合形式での対面授業からネット配信形式での非対面授業への変更等)や開講取消し等の措置を取ることがあります。

※応募予定者向け説明会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンデマンド動画によるプロジェクト科目紹介に変更いたします。なお、募集に関するお問い合わせは、次頁の“6. お問い合わせ先”に記載の電話番号、Eメールアドレス宛にご連絡くださいますようお願いいたします。

※2023年度開講科目の運営スケジュール(予定)

年月	2023年度 開講科目について
3月下旬	履修生選考
4月	春学期 履修生再募集・選考、授業開始 春学期 SATA 説明会 春学期 履修生説明会
5月	春学期 第1回 SA/TA 協議会 春学期 履修中止受付、企画書作成講座
6月	春学期 プロジェクト・リテラシー講習会 春学期 履修生懇談会
7月	春学期 第2回 SA/TA 協議会 春学期 履修生・SA/TA・科目担当者アンケート 春学期 成果報告会 春学期 学生成果報告書提出
8月	春学期 科目担当者成果報告書提出 春学期 科目担当者・代表者懇談会 春学期 成績評価
9月	秋学期 登録削除受付 秋学期 再募集(選考)・再募集結果発表 秋学期 授業開始
10月	秋学期 履修中止受付
12月	秋学期 プロジェクト・リテラシー講習会 秋学期 履修生懇談会
2024年1月	秋学期 第3回 SA/TA 協議会 秋学期 履修生・SA/TA・科目担当者アンケート 秋学期 成果報告会 秋学期 学生成果報告書提出 秋学期 科目担当者・代表者懇談会
2月	秋学期 科目担当者成果報告書提出 秋学期 成績評価

6. お問い合わせ先

ご不明な点等がございましたら、以下にご連絡いただきますようお願いいたします。

[今出川校地] 同志社大学 教育支援機構教務部今出川校地教務課 プロジェクト科目検討部会 事務局

住 所: 〒602-8580

京都市上京区今出川通烏丸東入(良心館1階)

電 話: 075-251-4630

FAX: 075-251-3064

e-mail: ji-pbl@mail.doshisha.ac.jp

※執務時間: 月～金 9:00～11:30、12:30～17:00

休 業 日: 土日祝、および2022年8月15日(月)～19日(金)

キャンパスマップ(今出川校地) : <https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/imadegawa/overview.html>

(京田辺校地) : <https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/kyotanabe/overview.html>

アクセスマップ(今出川校地) : <https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/imadegawa.html>

(京田辺校地) : <https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/kyotanabe.html>